

令和 7 年 9 月

氷見市地域おこし協力隊 活動報告

第 9 期生 佐藤 栞



氷見市地域おこし協力隊 9期生

佐藤 栞

Sato Shiori

2002年10月11日生まれ

東京都国分寺市出身

大学四年生（2024年度休学）

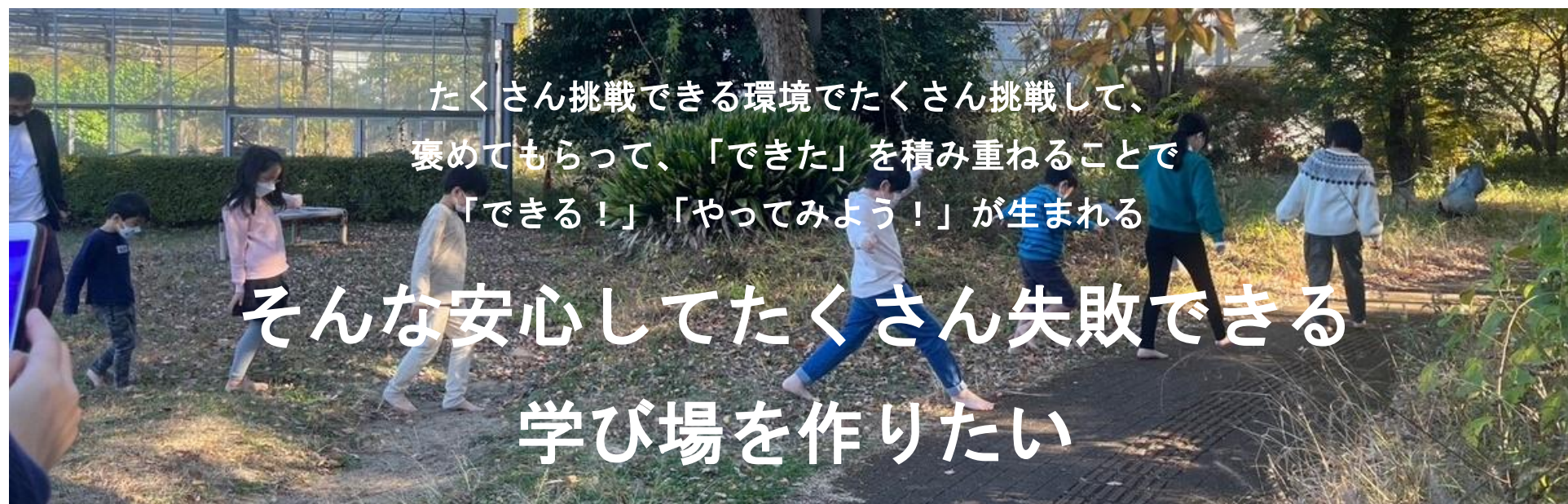
ひょんなことから教育学部に入学後、子どもと関わることの魅力や子どもたちの成長に寄与することの楽しさに触れ、さまざまな教育関係のプロジェクトに関わる。

就職活動時に自分の興味分野でもっと視野を広げたい、経験を積みたいと思い、休学を決意し、ご縁があって氷見市で働かせていただくことになりました。

協力隊として1年半活動してきましたが、一度大学卒業をするために協力隊を卒業し、その後氷見に戻って来て暮らすことを決めました。

活動テーマ

- ・ 氷見市立西の杜学園におけるアフタースクール推進体制の構築
- ・ 山森記念財団本部を活用したコミュニティスクールの実践



子ども時代の氷見での「できた」の経験が
将来、氷見で挑戦したい若者を増やす！

2024年度

TOKIHANATE!

シリコンバレー留学2024

対象者：4人（氷見高校生徒）



対象：富山県立氷見高校の選抜者

内容：シリコンバレー研修1週間と前後計1年間の研修を通して、常識にとらわれずに新しい価値創造をしていく高校生を輩出する

目的

- ・ グローバルな視点の獲得
- ・ 常識にとらわれず、自らを解き放つ経験
- ・アントレプレナーシップを身につける



自己PR



イノベーションチャレンジ



シリコンバレー研修

2024年度

好奇心を解き放て！

TOKIHANATE!

氷見サマーDAYキャンプ

参加者数：約20人



対象：氷見市内在住・在学の中高生

内容：海外大学生と日本人大学生が創造する氷見の中学生・高校生のためのグローバルサマーキャンプ

海外の大学生がカウンセラーとして、氷見のこどもたちと触れ合った

目的

- 世界の様々なテーマへの関心を育む
- 英語学習の意欲向上
- 挑戦と成功体験
- 異文化に触れて、あたりまえから自分を解き放つ

Day1／Day2



自己紹介では、大きな円になって、丸めたネクタイを投げ合いながら、キャッチした人から自己紹介をしていく。
誰も自分から受け取りに行こうとしなかった。



外国人メンターが拠点を作り、そこに子どもたちが自ら訪ねに行って、質問をする。より多く質問をできた人が優勝!最初は友だちと一緒に動いていた子も途中から1人で質問できるように



輪になって、対面した相手とテーマに合わせて会話をするアクティビティ。
一対一でのコミュニケーションに緊張しながらも楽しんでいるようす。

Day3/Day4



氷見の島尾海岸で、Beach Cleanupを行い、そのゴミをアクセントにして、砂の城を作るコンテストを実施。コンテストのアピールタイムには、自分のチームの城を一生懸命アピール。



ビーチで拾った貝殻を使ったアートワークショップ。特にお題はなく、自由な作品制作に戸惑う子もいたが、最終的には個性あふれる素敵な作品がたくさん生まれた。



最終日にプレゼンがあると聞いた時は、みんな不安そうにしていたが、いざ最終日を迎えるとみんな緊張しながらも堂々と自分の未来について目標や夢を語る姿がかっこよかった。

2024年度

好奇心を解き放て！

探究ワークショップ

実施回数：計12回

総参加者数：約120人



対象：氷見市周辺地域の幼児～高校生

内容：さまざまなテーマで子どもたちの興味領域を広げ、さらに深掘りするきっかけとなるような単発ワークショップ

目的

- 遊ぶ中で考える
- 英語に楽しく触れる
- 好奇心を育むためのワクワク体験をする
- 考えることに慣れる

Play & Learn

カードゲームで英語に触れよう！



日時 2024年6月8日(土) 13:00-15:00

場所 山森記念財団「英才榭」

- ・ カードゲームを用いワイワイ楽しみながら英語に触れる。
- ・ 古民家という教室とは異なる空間を活用し、知らないうちに英語に触れているという環境を作り、英語を学ぶきっかけを作る。

新聞紙のエアドーム



日時 西の杜学園体育館

場所 2024年6月23日(土) 10:00-12:00

- 目的
- ・ テーマは立体構造
 - ・ 新聞紙という身近なものを利用し、協働して作る大きな空間を楽しむ

事例 4

2024年度事業成果報告

未来の学び

ソウゾウサミットin氷見

参加者：約30人



対象：地域の未来を考えたい方

内容：山森記念財団の事業紹介とシリコンバレー留学PJの成果発表・氷見市の未来を描くために参加者が考え・意見するディスカッション

目的

- ・ 山森記念財団の活動を市内に広める
- ・ これからの氷見市での教育への関心・機運を高めるため



シリコンバレー企画



ディスカッション



パネルトーク

事例5

TOKIHANATE!

シリコンバレー留学2025

対象者：4人（氷見高校生徒）



対象：富山県立氷見高校の選抜者

内容：シリコンバレー研修1週間と前後計1年間の研修を通して、常識にとらわれずに新しい価値創造をしていく高校生を輩出する

目的

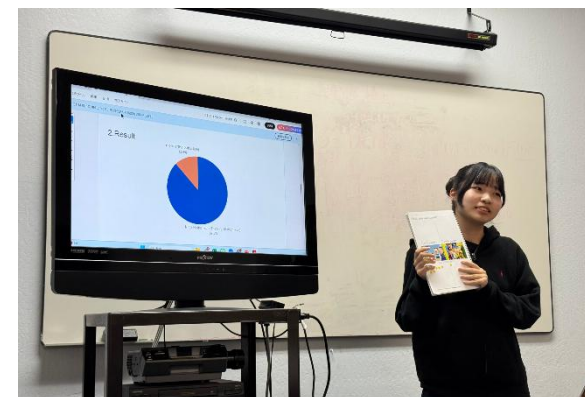
- ・ グローバルな視点の獲得
- ・ 常識にとらわれず、自らを解き放つ経験
- ・ 発想力と行動力を身につける



国内研修



イノベーチャレンジ



プレゼンテーション

成果と今後

氷見市で働きつつ、その合間で協力隊の活動の続きに取組みたいと思っています。



TOKIHANATE ! シリコンバレー企画

2期のプログラム運営を経て、目標である10年間の継続の土台を作るための課題が見えてきた。協力隊退任後も継続的に関わりプログラムやコミュニティを発展させていきたい。



子どもたちがやりたいことを実現できる場所づくり

子どもたちが自然や芸術、文化に触れられる機会を作り、豊かな感性を磨く機会を多く設ける。
学童との連携や自分自身で造形遊びの教室を運営したい。



学校・家庭・地域の連携

「人づくり」と「関わる人が話し合って、改めて関係性や役割分担を見直す機会」の必要性を改めて実感。
子どもを取り巻く環境を考える会を作りたい。

氷見市地域おこし協力隊としての暮らし

先輩方の活躍のおかげで氷見市には地域おこし協力隊を知っている方もたくさん！

氷見市では、今まで9期地域おこし協力隊を募集しているので、氷見市内で地域おこし協力隊の活動を知ってくださっている方が多くいました。縦のつながりも横のつながりもあるので、活動内容によって協力し合っている隊員が多く居ます。また、隊員を卒業した先輩で、氷見市内で活躍されている方もいるので、頼ることもできました。

隊員としての活動は所属先によって変わりますが、所属先と隊員とのやりとりを市役所の方が程よい距離感で見守ってくれるので、安心して活動できたおかげで充実した生活を送ることができました。

氷見市は最高の景観ととにかく美味しいごはんに囲まれた素敵な土地です！！

有名な富山湾越しに見える立山連峰は、名声に負けず本当に美しいですが、それだけではなく夕焼け空や、雨上がりの虹も魅力的です。さらには、海も山もある豊かな自然のおかげで食材がとても豊かで、幸せでした。

そして、その豊かな食材を活かし方を知っている素敵なお店がたくさんあります。カフェもご飯も居酒屋もとにかく美味しく、食材で季節も感じられて、幸せな食生活を送ることができました。

地域の皆様と温泉に心も体もあたためてもらえる！

氷見で生活していると、温泉に日常的に行けるという贅沢ができました ✨

疲れたとか、ちょっと落ち込んだ時には、温泉に行こうと決めて、あったかいお湯につかるとリフレッシュしていました。さらには、地域の方はみんなとてもあたたかいし、氷見が地元の方も、移住して来られた方も、みなさんとっても優しく、活動にも協力してくださいました。氷見の皆さまのあたたかさを感じて協力隊として活動した期間は宝物です。本当にありがとうございました。

仕事以外で1年半で累計45人氷見に呼び、たくさん自慢しました 😊